

W杯の女子団体追い抜きで優勝した日本チーム12日、オランダ・ヘーレンフェイン(EPA時事)



日本団体追い抜き優勝

W杯スケート最終戦 押切、美帆、菜那

【オランダ・ヘーレンフェイン】スピードスケート オランダ。のワールドカップ(W杯) 押切は女子1500メートルは今季最終戦、ヘーレンフェイン大会第2日は12日、オランダ。高木美帆は7位、菊池彩蘭のヘーレンフェイン花(富士急)は9位。で行われ、女子団体追い抜きで日本(押切美沙紀、高木菜那、高木美帆、中札内中出、高木美帆)は11位、辻麻希(関西)帯南商高出、高木菜那は12位だった。日本電産サンキョー帯南商高出が、2分58秒06で優勝した。日本は今季4戦で3勝を挙げ、種目別も制

【女子】◇Aクラス▽500メートル①プリタニー・ボウ(米国)37秒64②小平奈緒(相澤病院)38秒46③神谷衣理那(開西病院)38秒77④辻麻希(開西病院)38秒84▽1500メートル①プリタニー・ボウ(米国)1分54秒34②押切美沙紀(富士急)1分57秒34③高木美帆(日本体大)1分57秒34④高木美帆(日本体大)1分57秒65⑤菊池彩花(富士急)1分59秒11▽団体追い抜き①日本(押切美沙紀、高木美帆、高木菜那)②日本電産サンキョー帯南商高出 2分58秒06 ※男子は日本勢の出場なし

最強のオランダをラスト半周で逆転

日本が地元オランダとの壮絶な接戦を制し、オランダに染まった会場を沈黙させた。しかも、これまで不在だったソチ五輪女子3000メートルのブストを加え、現状の最強メンバーをそろえた相手に勝った。押切が「強いメンバーが参加したオランダに勝てたのは大きい」と価値ある優勝の喜びをかみしめた。

「1周目、2周目は90%で行って、最後(のスプリント)を落とさないでいく」(高木美帆) 作戦が当たった。5周目まで僅差で追う展開が続いたが、ラスト半周でわずかに間延びしたオランダを0.15秒差で逆

喜ぶ日本チーム(左から高木菜、押切、高木美) 4戦3勝で堂々と種目別優勝も決めた。高木菜は「いろいろ改善していけば2分57秒台が出るくらい感じがある」とさらなる進化に自信を見せた。高木美帆は「ここからは自分たちのレベルをいかに上げていくか」と個人の力量強化を課題に挙げた。(ヘーレンフェイン時事)



喜ぶ日本チーム(左から高木菜、押切、高木美)